

7月4日(月)

壊れた水溜めか生ける水か

聖書朗読 エレミヤ書 2:1~13

わたしの民は二つの悪を行った。湧き水の泉であるわたしを捨てて、多くの水ためを、水をためることのできない、こわれた水ためを、自分たちのために掘ったのだ。

エレミヤ書 2:13

エレミヤは、神様からの恵みを次から次へと受けてきた自国が神様の生ける水を捨て、壊れ、濁った水ためから水を飲んでいる様子を嘆きました。これが壊れ、傷を負った国の結果です。「私の民の娘の傷のために、私も傷つき。」「乳香はギルアデにないのか。」(エレミヤ書8:21、22)

あなたは自分の母国に対して、同じように神様の生ける水を捨て、壊れた水ためから水を飲んでいるように感じたことはありませんか。権力を持つ財界人達が誠実さを失い、欲望によって水ためを掘り、濁った経済崩壊という水を飲む。政治家は礼儀を捨て、誹謗中傷という水ためを掘り、濁った皮肉と疑惑の水を飲む。芸能人は品位を失い、欲で満ちた水を飲む。

神の民として、私達はこの世に新しい清い水が存在を伝えられるでしょうか。濁った水ためにある人々を生ける水に導くことができるでしょうか。罪と言う砂漠の中で乾いた人々が神様のオアシスを見つけられるよう助けることができるでしょうか。世話をされず、手入れをされていない荒れた木々の間で私たちは整備された庭となり、石膏の街が崩れ落ちる中、私たちは丘の上に建てられた神にある町となることができるでしょうか。

讃美歌 194

祈り 神様、あなたが国々を大いに祝福してくださったにもかかわらず、多くの民があなたの恵みの御手をみることができずにいます。この地にあなたの民として生きる私たちが、あなたの善意と恵みを示すものとなりますように。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

デイビッド・ラングフォード

今日の力

2022年7月4日~7月10日

翻訳 浦部 言

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月5日 (火)

もう一度目を向けなさい

聖書朗読 エレミヤ書 12:4~17

ですから、弱った手と衰えたひざとを、まっすぐにしなさい。また、あなたがたの足のためには、まっすぐな道を作りなさい。

ヘブル 12:12~13

就職難。不景気。気の合わない上司。不道德。家庭の問題。雨漏り。神様から離れる人々。笑いものにされるクリスチャン。どこに励ましはあるのでしょうか。

励ましはここにあります。エレミヤも同じように厳しい状況にありました。彼は嘲笑われても、迫害されても、投獄されても、神様のみことばを見つけることができました。「あなたは徒歩の人たちと走っても疲れるのに、どうして騎馬の人と競争できよう。あなたは平穏な地で安心して過ごしているのに、どうしてヨルダンの密林で過ごせよう」(エレミヤ12:5)。

なんと素晴らしいことでしょうか。エレミヤに神様は、エレミヤ今の状況を辛いと感じているのであれば、騎馬の人と競争するような本当の苦難の時あなたはどのようにするのですかと尋ねられました。

ヘブル人への手紙の著者は「あなたがたはまだ、罪と戦って、血を流すまで抵抗したことはありません」(12:4)と書いています。

多くの人は挫折した時に、客観的にその出来事を見ることができません。私たちはパウロのように39回の鞭打ちを受けることも、石打ちされることも、死ぬまで野晒(のざら)しにされることも恐らくないでしょう。私たちはクリスチャンであるがゆえに処刑されることも、十字架に架けられることも恐らくないでしょう。神様はエレミヤに、人生に対して新しい視点をもつようにとおっしゃいました。そして、エレミヤはそのようにしました。

聖歌 514

祈り 父よ、全てのことにあなた存在をみることができない私たちをお許してください。この世の苦難によって、あなたの視点によって物事をみられなくなっている私たちを赦し、あなたの視点によってこの世をみせてください。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ペニー・F・ニコラス

7月6日 (水)

神様は何を私に求めておられるのでしょうか？

聖書朗読 ミカ書 6:6~8

主はあなたに告げられた。人よ。何が良いことなのか。主は何をあなたに求めておられるのか。

ミカ書 6:8

クリスチャンはどのように、自分に時間をかけ、お金をかけ見せびらかすことを迫るこの世と神様に仕えたいという思いのバランスをとって生きているのでしょうか。

本日のミカ書の聖書箇所では神様は基本に戻って私たちに教えてくださっています。神様は私たちに、以下のことがらを神様に仕えるために求めておられます。

一公義を行うこと

一誠実を愛すること

一へりくだって神と共に歩むこと

この3つだけです。“公義を行うこと”とは単純に私たちがされたいように他人にすることです。見知らぬ人のためにドアを開けること、他人に優しくすること、全ての人を公平に接すること。“誠実を愛すること”は私たちに自分よりも他人を優先し、赦し合い、御霊の実を惜しみなく分け合うことを励まします。“へりくだって神と共に歩むこと”は一日一日を神様のために生きるということを学び、全ての関係において相手を自分よりも優先することです。

神様が私たちに何を求めておられるのか、分からなくなってしまうとき、公義を行うこと、誠実を愛すること、へりくだって神と共に歩むことを覚えて行ってください。

讃美歌 389

祈り 天の父なる、愛なる神様、日々をあなたと歩む中で私たちがあなたの御心を行い、他の人を優先する生き方を与えてください。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

マーク・ヤング

7月7日 (木)

人生はドラマだ

聖書朗読 ホセア書3

「慰めよ。慰めよ。わたしの民を」とあなたがたの神は仰せられる。「エルサレムに優しく語りかけよ。これに呼びかけよ。その労苦は終わり、その答は償われた。」

イザヤ書 40：1～2

私たちは日々をドラマのように観客のために与えられた役を演じているように過ごしていると感じることがあります。観客はそれを見て、それを自分自身の演技に反映させるのです。

ホセアは神様が定められたようにする必要がありました。不信仰な妻をめとり、離婚をしたのち、再び迎え入れる必要がありました。同じように、ホセアの観客であったイスラエルも神様に対して不信仰でありました。

今、私たちは神の人々に慰めを与え、福音を宣べ、正義を示す必要があります。私たちは、ホセアのように他人の誤った選択や貧しさ、無知や困難な状態において働きかけることをためらってしまいます。私たちは、自分の中において、正しい選択をし、忠実な友人を持ち、家庭を持ち、自分の仕事を全うすることで幸福を感じ、満たされた思いになります。しかし、それだけで満足してはならないのです。神様は私たちに、この神様に反する世の中において使命を与えられました。

私たちがこの世で生きていく中、神様の愛を表していくことが大事です。つまり、私たちが罪あるものを、神様が私たちにしてくださったように受け止め、神様の愛を示すことで、人々は神様の憐みをみることができます。自ら与えられたものを無駄にした人々に、私たちが愛を持って接することで、世の人は神様の恵みをみることができます。

讃美歌 354

祈り 父なる神様、あなたは私たちに多くの役目を与えてくださいました。その役目を通して、あなたをほめたたえ、あなたが人々を救うために行われていることを表すことができますように。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ポール・トーマス

7月8日 (金)

変えられる

聖書朗読 ハバクク書 3：8～19

よみの綱は私を取り囲み、死のわなは私に立ち向かった。私は苦しみの中に主を呼び求め、わが神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、私の叫びは、御耳に届いた。

Ⅱサムエル記 22：6～7

ハバクク書3章は、神を待ち望むものに希望と励ましを与えます。ハバクク1章では、ハバククも神様を待ち望んでいた様子がみられます。そして、彼も、私たちと同じように忍耐強く待つことができなかつた様子がみられます。

ハバククの祈りは、彼の変化を表しています。まず、神様の力を認めています。彼が信じて待ち望む神は、地を裂いて川とし、国々を踏みつけ、馬で海を踏みつけ大水に波をたたせます。私たちの神は揺るがない、強い戦士なのです。

神様は私たちのために戦い続けられます。私たちがしっかりと立ち、待ち望む時、神様は私たちを変えられます。私たちが神様を待ち望み、力を求めて寄り頼むとき、神様は私たちの足を鹿のように変えられ、高いところまで登ることを可能にしてください。待つことは無駄ではないのです。神様は私たちを、神様と共に歩めるように変え続けてください。

神様は無関心で、不十分な方ではありません。私たちの苦しみや願いを無視されることはありません。神様は全てを聞いておられ、すでに働かれています。神様は私たちのために戦い、揺るがない力によって、私たちが神様の御姿に近づくよう常に変え続けてくださっている戦士なのです。

讃美歌 267

祈り 神様、私たちが苦しみにあるとき、あなたの力を与えてください。私たちが揺るぐことなく立ち続けられるよう助けてください。私たちを希望で満たし、変えてください。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

リベッカ・スミス

7月9日(土)

天からの鳩

聖書朗読 マタイによる福音書 3:13~17

こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるのをご覧になった。また、天からこう告げる声が聞こえた。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」

マタイ 3:16

私の妻が大きな手術を行ったあとに、癌を申告されたときを思い出します。病院から自宅に帰った次の日、家の玄関先に一羽の鳩が巣を作りました。私は彼女を Joy (喜び) と名付けました。これからどうなるか分からない日々まさに喜びが必要だったからです。

数週間後、イースター礼拝から戻ってきたとき、私たちは一羽の鳩の赤ちゃんをみることができました。Hope (希望) と名付けました。ひと月のうちに増え続け、Peace (平和)、Love (愛)、Faith (信仰)、Patience (忍耐) が与えられました!

彼らを眺めているうちに、私は鳥たちにとって暑さ、寒さ、風を耐えることがいかに大切かを学びました。鳥たちも困難を乗り越えているのです。ですから、私たちも忍耐をもって日々の生活に臨むことができます。

イエス様のバプテスマのときの鳩が神様の存在、祝福、承認を示したように、私たちの鳩も暗く不確かな時を過ごしていた私たちに同じことを示してくれました。神様は私たちと共にいて、慰めてくださっている!

気が狂うような迷路の中で。

風と波にもまれる中で、

私の魂は揺るがない信仰にしがみつきます

神様は良いお方です。

—ジョン・グリーンリーフ・ウィッティア

讃美歌 273B

祈り 父なる神様、あなたの存在と愛とを私たちは十分知っているにもかかわらず、それらを度々再確認しなければならぬことをお許しください。どんな状況にあってもあなたと共に歩んでいくことができますように。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン

7月10日(日)

イエス様も誘惑される?

聖書朗読 マタイ 4:1~11

私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでしたでしたが、すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。

ヘブル 4:15

イエス様が悪魔から受けた試みは、私たちが受けるものと同じくらい厳しいものとイエス様も感じたのでしょうか。なぜかというと、イエス様は、神殿の頂から身を投げても御使いたちが支えてくれると知っていたわけですから、私たちが試みにあうのとはちょっと次元が違うのではと思ってしまうのです。また、この世の全ての国々を手に入れることができると言われたのに、どうしてひれ伏して拝めというサタンの試みを真剣に受けられることができたのでしょうか。

もっと言いますと、石をパンに変えればいいという試みのほうが、よりイメージしやすいような感じがします。私が珍しく1、2回食事を抜いてしまったとき、もう6週間もなにも食べていなかったイエス様の謙虚な姿を心底理解するのは難しいのです。私が何が言いたいかと申しますと、つまり、これらの悪魔の試みを理解するのは、人間である私には難しいと思ってしまうのです。

そんな中、これらの試みの本当の意味をじっくり考えてみました。イエス様がこの箇所を受けられた試みと、生涯の働きの中で受けられた試みは私が受けるものよりもずっと厳しいものであったのだろうとは想像がつかしました。なぜなら私は自分が試みにあったとするならば、悪魔が最終手段を使うよりも前に誘惑に負けてしまうからです。より強い意志を持つ者は、より困難な試みに会われます。イエス様は完全なる罪のいけにえとなるために、それらすべてを受けられ、それらの試みに打ち勝ったのだということがようやく分かりました。

讃美歌 317

祈り 父なる神様、あなたのひとり子が、人が受ける全ての試みを受けられただけでなく、全てに打ち勝たれたことを理解するのに時間がかかった私をお赦しください。イエス様が完全なるお方であることを私の弱さのうえに信じられないこともあります。イエス様に倣うための力を求めます。

イエス様の御名を通して、お祈りいたします。アーメン。

ケイ・バーナム・イヴァンズ